

完成!!!



ガイドブック完成記念

「只見おもしろ学」推進町民大会開催

「只見学」を推進するため平成22年度から取り組んできた「只見おもしろ学ガイドブック」がこの度完成し、完成記念として推進町民大会が季の郷湯ら里で4月20日に開催され総勢150名の町民が参加しました。

大会は3部構成で行われ、第1部は「只見おもしろ学ガイドブック」の披露として渡部教育次長よりガイドブックが誕生するに至った経緯や完成するまでの経過報告、ガイドブックの紹介が行われました。



▲基調講演のようす

第2部は前・後半に分かれ、前半は只見町教育委員会で行っている地域人材育成ダイヤモンドプラン事業の講師を担当されている(株)明天代表取締役 貝沼航氏から「只見学が地域を元気にする」をテーマに基調講演が行われました。

講演の中でまちづくりとは「この町を子ども達にどう引き継ぐか？」が最大のテーマでありそのためには子ども達が「この町に住んでいる人」ってカッコイイ!!」と思わせたり「笑顔

只見学ってなあに？

町の自然・歴史・文化・伝統・産業などの地域資源をすべて学習対象として、子どもや大人が地域に学び地域理解を深めるとともに、地域の価値を再発見し、地域を創造する学習運動のことです。

「只見おもしろ学」 ガイドブック



▲シンポジウムのようす

があふれる町」にする事が大切であり、このガイドブックはその土台になるというお話を頂きました。

また地域資源を活用した観光事業についてのアイデアなどのお話もありました。

第2部後半は「只見の再発見で地域を創造する」をテーマにシンポジウムが行われました。齋藤教育長をコーディネーターとし区長連絡協議会長や朝日小学校長など計5名をパネリストとして招き集落、学校、家庭

観光などそれぞれの立場でガイドブックをどのように活用していくかなどの意見が発表されました。

第3部は「大会宣言」として目黒町長が「私たち只見町民は、先人に学ぶとともに地域を深く理解し、より良いふるさとを創造していくけるよう「只見おもしろ学」を町民みんなで学ぶことをここに宣言いたします」と推進宣言(案)を読み上げると、参加者の大きな拍手により宣言文が採択されました。

「只見学」の推進はガイドブックの完成が「ゴール」ではなく「スタート」になります。

このガイドブックを町民の皆さん一人一人がまず開いて目を通して頂く事から「只見学」が始まります。多くの皆さんにガイドブックを活用して頂き、今まで以上に只見町を好きになり誇りを持てるようになって欲しいと思います。

『只見おもしろ学 ガイドブック』

(B5判 272ページ)

子どもから大人まで読みやすいように「楽しさ」「発見」「誇り」をコンセプトに製作されています。

掲載内容は「歴史」「民俗」「自然」「文化」「産業」の5分野で構成されており町内の各家庭に1冊ずつ配布いたします。

ガイドブックは冊子だけではなくデジタル化も行いパソコンやスマートフォン、タブレット端末などによりいつでもどこでも見る事が出来ます。ダウンロードは無料ですので是非ご利用下さい。

ダウンロード先

只見町のホームページ

<http://www.tadami.gr.jp>、または

<http://tadamigaku.sakura.ne.jp>



▲ガイドブックの身中